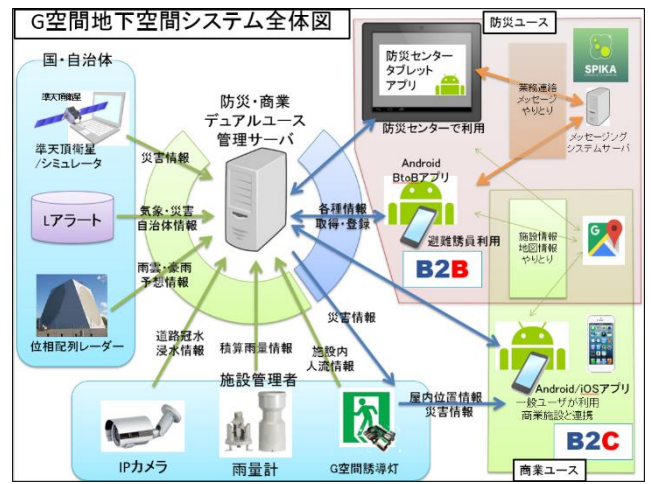
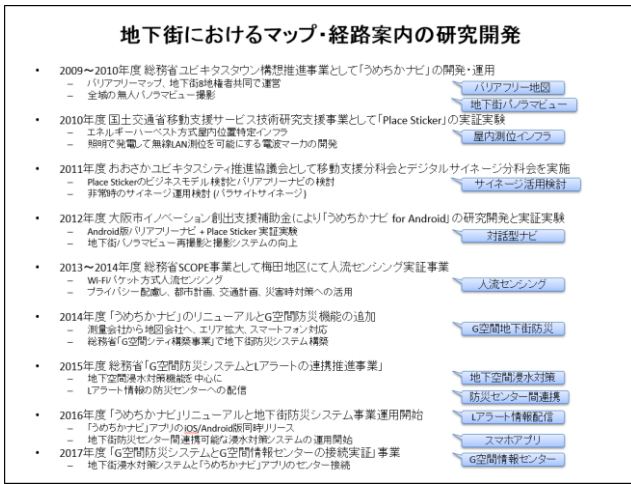


地下空間での防災フィールドワークとその持続可能な社会実装

西尾 信彦¹

概要: 筆者は10年に渡り、大阪・梅田駅周辺地下街を実証評価フィールドとして、バリアフリー、対話的ナビゲーション、屋内外シームレス測位技術、人流解析、防災システムの研究開発を継続している。また、この中からバリアフリーナビゲーションは「うめちかナビ」として、防災システムは「地下空間浸水対策システム」として社会実装され事業化されている。ここでは、それらを概観しつつ最新の技術動向について報告し、加えて政府が進める地理空間情報の活用推進を目指した各種事業とTokyo2020に向けた展望について解説する。



¹ 立命館大学 情報理工学部